2020年10月15日

各　　位

会 社 名　ＶＡＬＵＥＮＥＸ株式会社
代表者名　代 表 取 締 役 社 長　ＣＥＯ　中村　達生
(コード番号 4422 東証マザーズ)
問合せ先　取締役　CFO ｺｰﾎﾟﾚｰﾄ本部長　鮫島　正明
（ＴＥＬ　03－6902－9833）

＜マザーズ＞2020年７月期
投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

開催状況

開催日時	2020年10月15日
開催方法	ウェビナー形式での説明会開催
説明会資料名	2020年7月期決算説明会（機関投資家・アナリスト向け）

【添付資料】
投資説明会において使用した資料

以　上



2020年7月期 決算説明会
（機関投資家・アナリスト向け）

2020年10月15日

ＶＡＬＵＥＮＥＸ株式会社

東証マザーズ：証券コード4422

VALUENEX

この度のCOVID-19の感染拡大により、経済的・心理的被害を受けた方々の一日も早いご回復をお祈り申し上げます。

当社は、ビッグデータ俯瞰解析によりCOVID-19の感染収束と顧客企業の業績回復に貢献することを通じて世界の為に役に立ちたいと考えております。

© 2020 VALUENEX Japan Inc.

項目

1 2020年7月期業績報告

2 2021年7月期連結業績予想・中長期事業方針

3 事業概要・ケーススタディ

© 2020 VALUENEX Japan Inc.

決算ハイライト

1	売上は前年比5.3％増となったが、営業利益は前年を下回る結果となった。	• 売上高　：587百万円（前年比＋29百万円、＋5.3％） • 営業利益　：▲94百万円（前年比▲18百万円） • 経常利益　：▲95百万円（前年比▲３ 百万円） • 最終利益　：▲90百万円（前年比+17百万円）
2	コンサルティング売上は前年比マイナス。一方、ASP売上は堅調な伸び。	• コンサルティング売上：米国で前年同期比マイナスに。日本は同プラス。 • ASP売上：国内において堅調に積み上がり前年同期比プラス。
3	主に営業強化のため11名採用（前期比+ 6名） 及びオフィス増床等によりコストは増加	• コスト（売上原価＋販管費）：681百万円（前年比＋7.5％） →人員増による人件費（前年比＋15.9％）、 オフィス増床に伴う費用（地代家賃、減価償却費等）（前年比＋91.5％）

© 2020 VALUENEX Japan Inc.

2020年7月期 連結業績概要

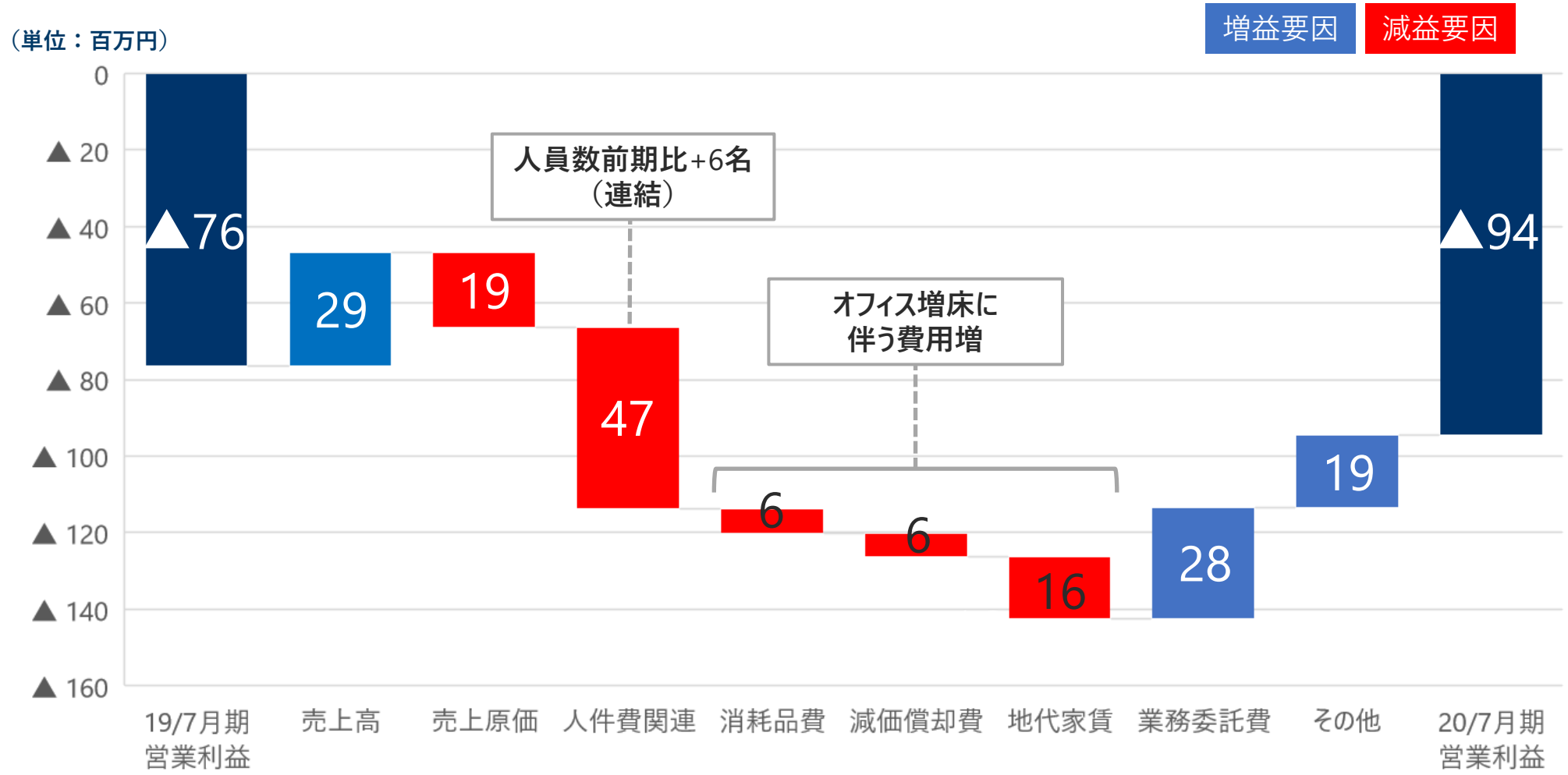
ASPサービスの伸びにより売上は前年同期比プラス。一方、人員増などにより販管費が増加したことにより、営業利益は前年を下回る結果となった。

（単位：百万円）	19/7月期 実績	20/7月期 実績	前年同期比 金額	前年同期比 増減率
売上高	557	587	29	+5.3%
売上総利益	438	448	9	+2.2%
販管費	515	543	28	+5.4%
営業利益	▲ 76	▲ 94	▲ 18	-
経常利益	▲ 92	▲ 95	▲ 3	-
親会社株主に帰属する当期純利益	▲ 108	▲ 90	17	-

© 2020 VALUENEX Japan Inc.

2020年7月期 連結営業利益増減要因 ～対前年同期増減～

売上は前年同期比でプラスとなったものの、主に人件費の増加、オフィス増床に伴う費用増により、営業利益は前年を下回った。

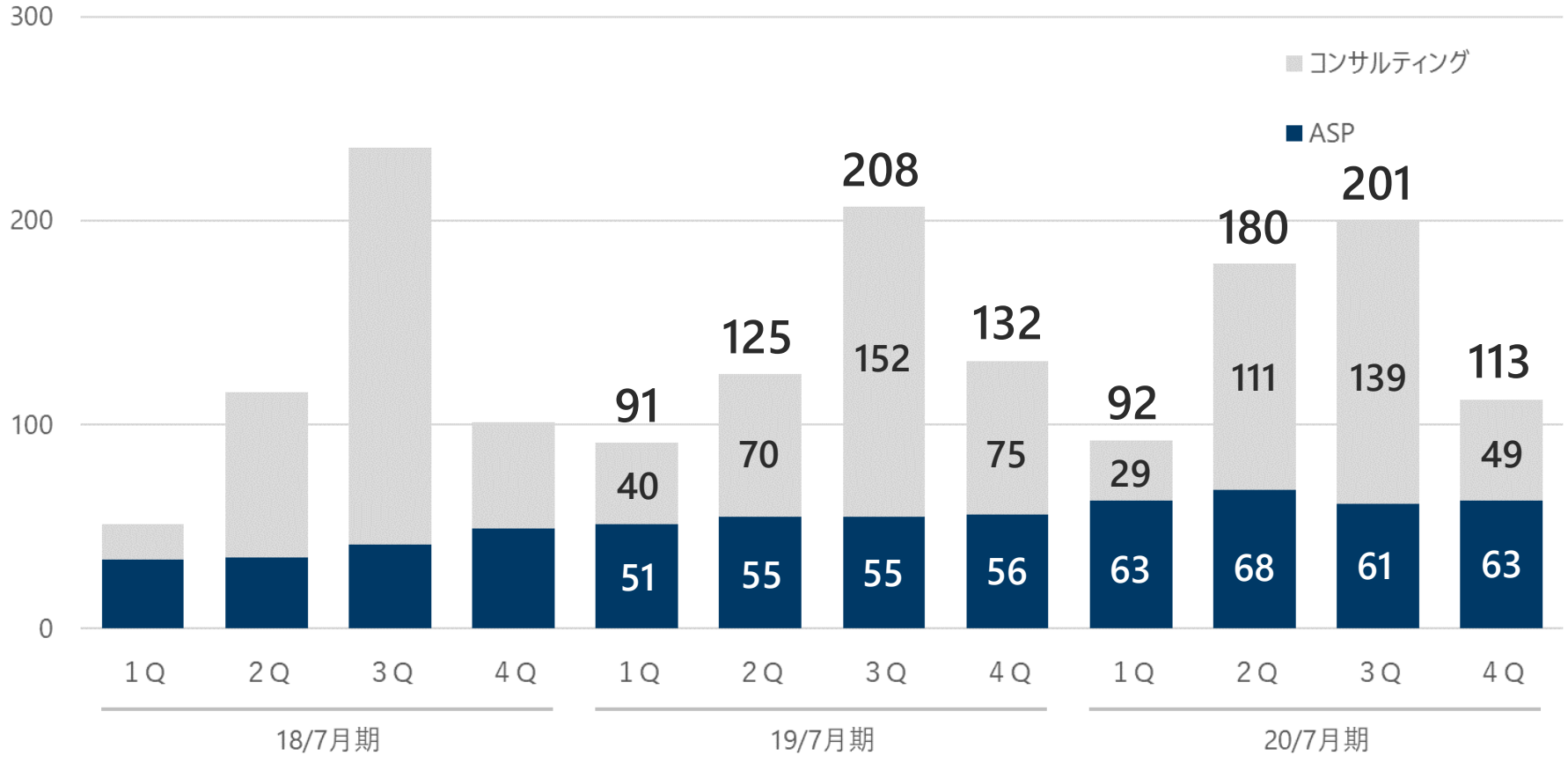


© 2020 VALUENEX Japan Inc.

連結売上高の推移（サービス別）

コンサルティング：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により４Ｑの案件獲得が進まなかった。
ASP：国内において堅調に推移。

（単位：百万円）



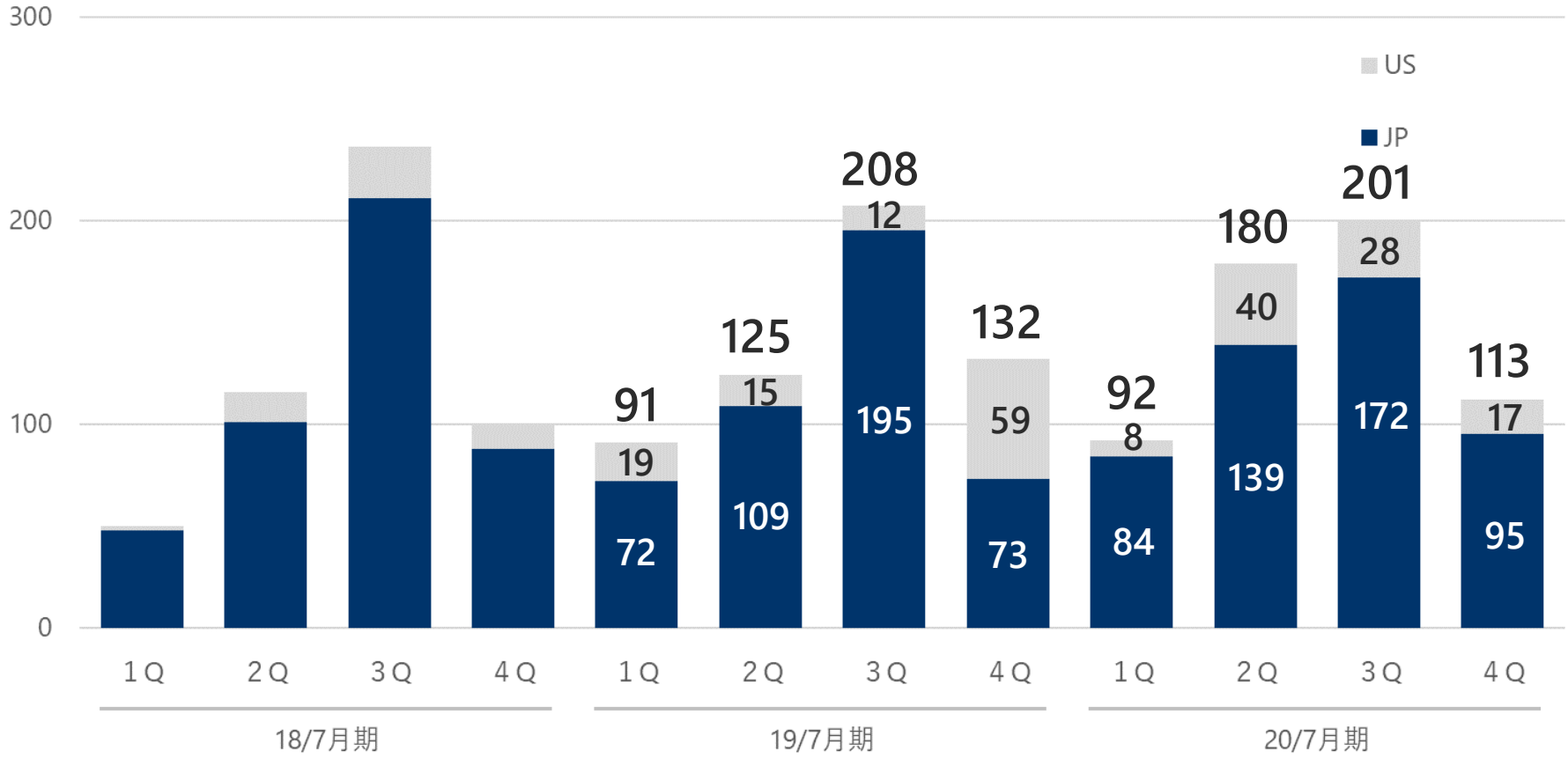
前年同期比	
4Q	通期
▲15%	＋5%
▲35%	▲2%
＋12%	＋17%

© 2020 VALUENEX Japan Inc.

連結売上高の推移（地域別）

JP：コンサルティング、ASPともに前年を上回った。
US：３Qまでは順調に推移していたが、COVID19の影響により4Qで前年を大きく
　　下回ったため、通期でも前年を下回る。

（単位：百万円）

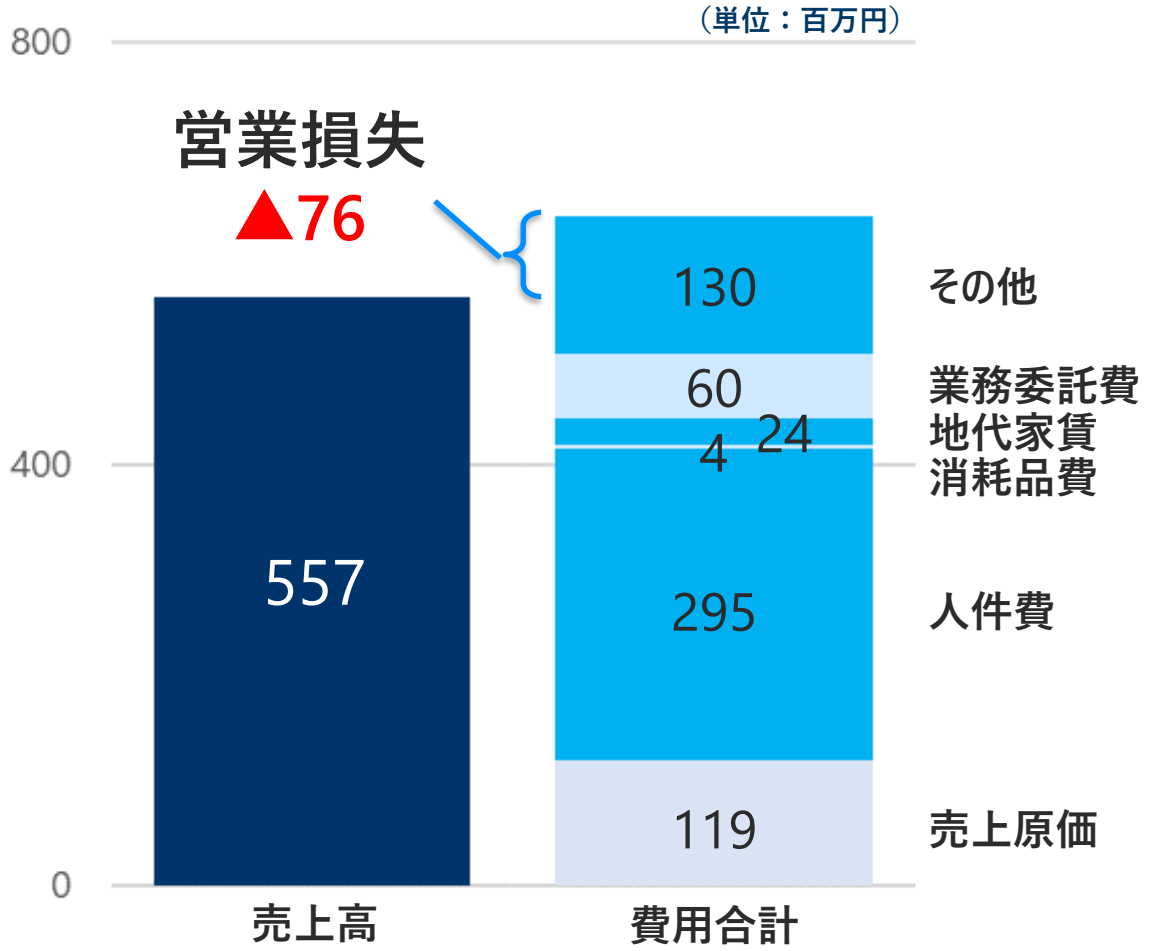


前年同期比	4Q	通期
	▲15%	＋5%
	▲71%	▲12%
	+31%	＋９%

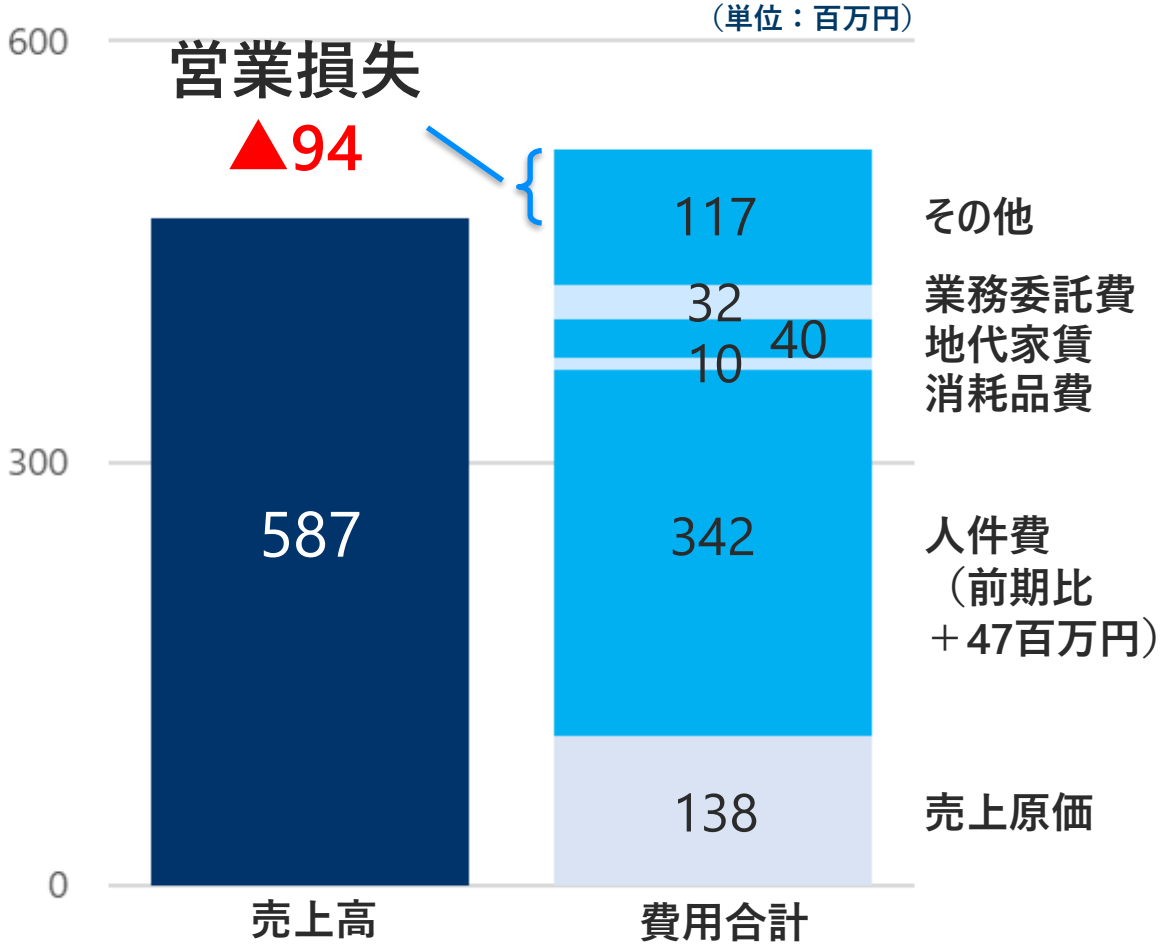
© 2020 V

2020年7月期 連結営業費用の内訳

人件費の増加：人員数前年比＋６名（連結）によるもの。
消耗品費・地代家賃の増加：オフィス増床に伴うもの。



19/7月期実績



20/7月期実績

© 2020 VALUENEX Japan Inc.

2020年7月期 連結財政状況

自己資本比率は85.3％となった。

		2019年 7月期末	2020年 7月期末	増減額	増減率	主な増減要因	
資産		1,077	1,000	▲ 76	▲ 7%		
	流動資産	1,040	903	▲ 137	▲ 13%	現金及び預金 売掛金 その他	▲ 115 ▲ 26 1
	固定資産	36	96	60	166%	有形固定資産 投資その他の資産	54 5
負債		137	144	6	5%		
	流動負債	136	137	0	0%	買掛金 1年以内返済長期借入金 未払法人税等 前受金 賞与引当金	▲0 4 ▲ 1 ▲0 ▲ 2
	固定負債	1	7	5.0	519%	リース債務	5
純資産		939	856	▲ 83	▲ 9%	自己資本 新株予約権	▲ 82 ▲0

© 2020 VALUENEX Japan Inc.

VALUENEX, Inc.（米国）第4四半期活動状況

営業活動	• 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で米国は3月から政府機関による屋内避難指示（shelter-in-place order）が続いており、ビジネス環境は著しく悪化。顧客対象企業の予算が減り、新しいサービス購入に慎重になった。 • ただ、4月に新しく採用した営業の努力により、様々な米国の有名企業のリードを獲得することに成功。VALUENEX Radarのトライアルを通じて、ライセンス獲得に注力中。
マーケティング	• 2020年6月30日のLES(Licensing Executive Society)主催のWebinarでVALUENEXがIP Strategies in M&AについてMicrosoftと共に講演。 • 2020年7月22日にStanford Universityにて学生向けにTelling stories through data visualizationというタイトルでVALUENEX単独の体験型ワークショップを開催。
採用	• アメリカのジョブサイトにて応募があった400名の中からUX/UI Researcher(Summer intern)を 2 名採用、米国顧客のUser experience向上のための開発を開始。 • スタンフォード大学卒のデータサイエンティストを正社員として採用。
開発	• シリコンバレーの最先端の自然言語処理技術を VALUENEX Radarに取り込む開発などを継続中。

© 2020 VALUENEX Japan Inc.

項目

1 2020年7月期業績報告

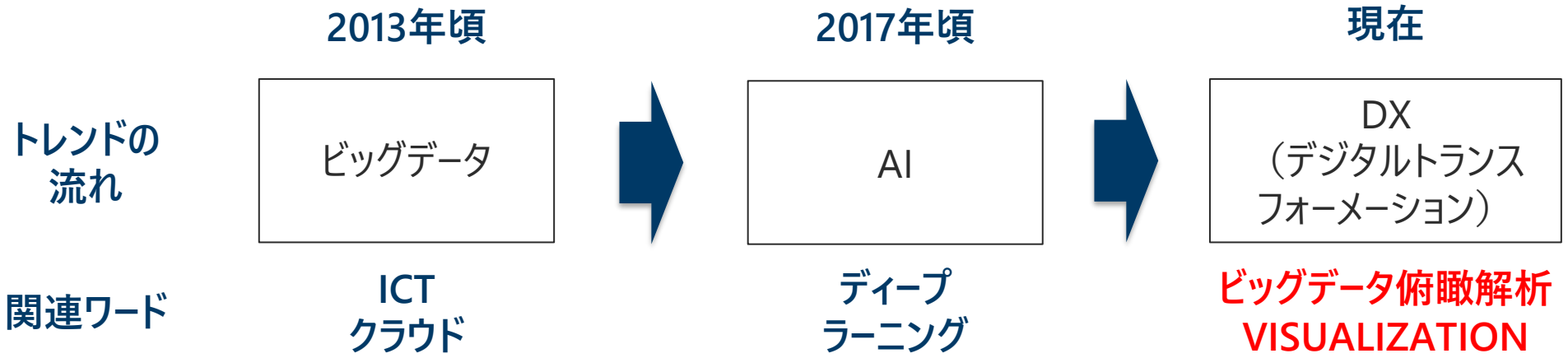
2 2021年7月期連結業績予想・中長期事業方針

3 事業概要・ケーススタディ

© 2020 VALUENEX Japan Inc.

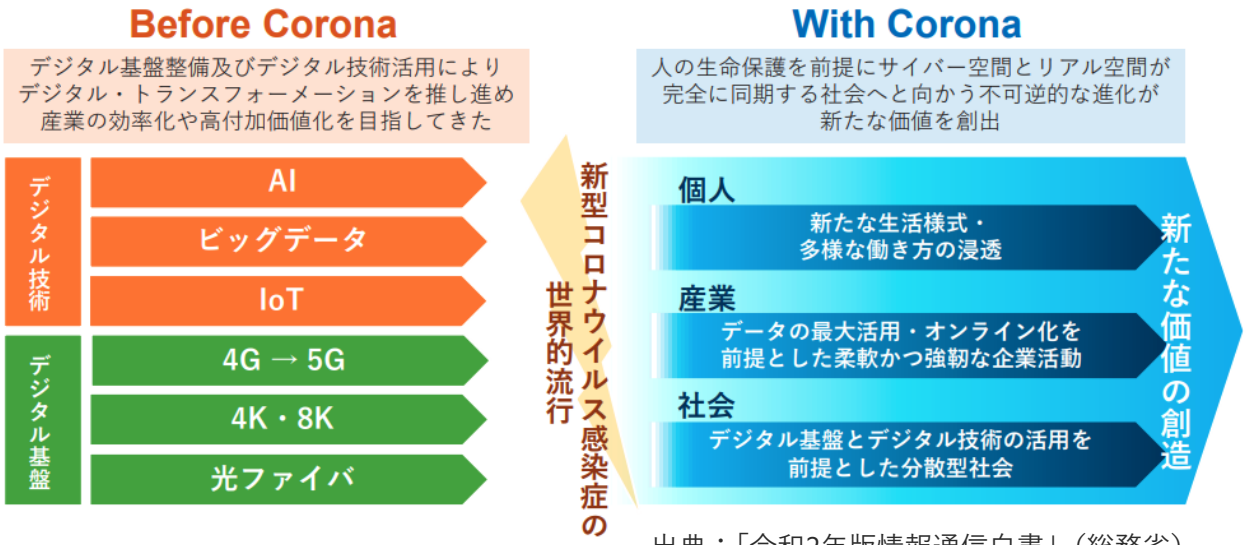
2021年7月期に向けて（1）

コロナ禍により、世界的にDX（デジタルトランスフォーメーション）へのシフトが進行している
今後は経営の意思決定においても、DXが大きな役割を果たしていくと考えられ、
当社にとっては追い風。



© 2020 VALUENEX Japan Inc.

デジタルトランスフォーメーション(DX)はコロナで急速進展



出典：「令和2年版情報通信白書」（総務省）

世界的コロナパンデミックによって、デジタルトランスフォーメーション(DX)は急速に進展している。
その核心はデータの最大活用であり、データ解析技術が必要とされる。

日本ではデジタルトランスフォーメーション(DX)への関心がコロナショックを切っ掛けに急速に進んでいる。

日本におけるデジタルトランスフォーメーションへの関心

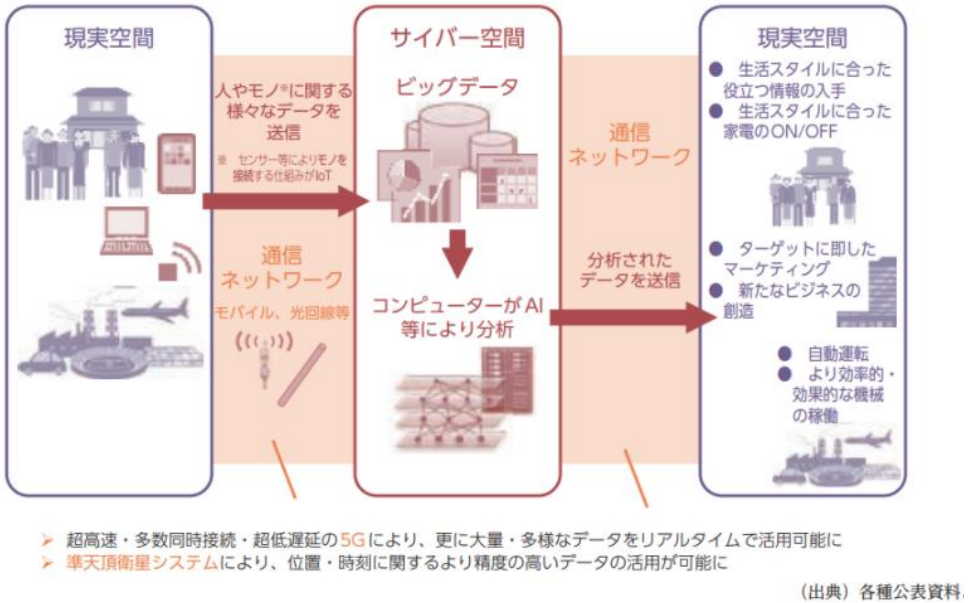


出典：Google Trends

© 2020 VALUENEX Japan Inc.

デジタルデータ解析が新しい価値をもたらす

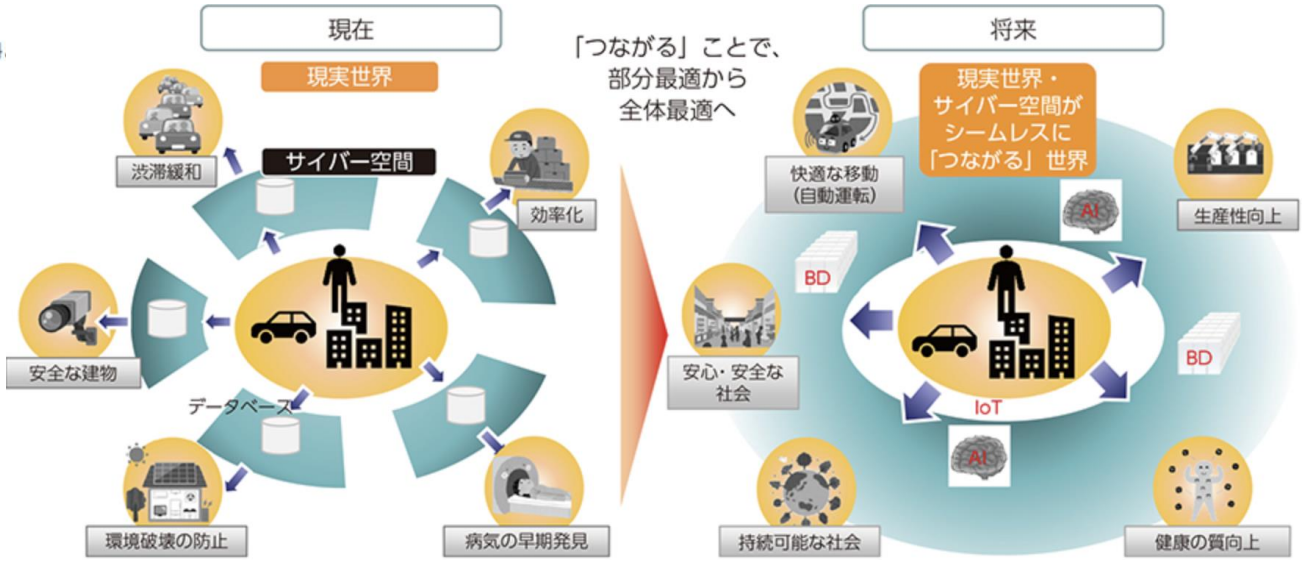
図表2-1-2-2　データが価値を創出するプロセスと仕組み



出典：「令和元年版情報通信白書」

データ解析が新しい価値を発見し、新しいビジネスを創出する。

日本のデジタルトランスフォーメーションはこれからが本番。
デジタルインフラの整備から
⇨データ解析によるデジタルデータ活用へ。



出典：「令和2年版情報通信白書」（総務省）

© 2020 VALUENEX Japan Inc.

2021年7月期に向けて（2）

2020年7月期はスタンフォード大学との連携を強化
現地において優秀な人材の確保が可能に

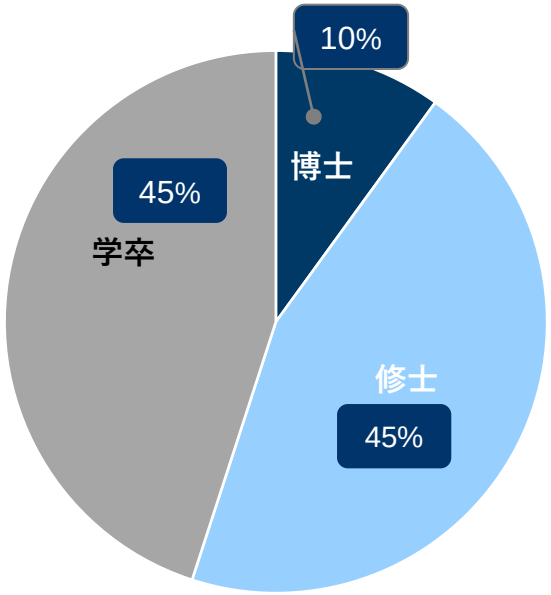
- Japan-US Innovation Awards にてInnovation Showcase受賞
- 同大学のキャリアプラットフォームを利用し、リクルーティング活動が可能に
- 同大学からインターンを採用
- スタンフォードコンサルティングと業務提携
- 同大学の学生向けに当社単独の体験型ワークショップを開催
- 現在、同大学から正社員2名（コンピューターサイエンス、MBA）とインターンを延べ10名以上採用し、開発・データ解析に従事

© 2020 VALUENEX Japan Inc.

2021年7月期に向けて（3）

主に2020年7月期に採用した、多様な専門性をもった人材が徐々にその専門性を発揮

全社員の半数強は博士/修士



当社主催ウェビナー

アフターコロナにおける社会構造の変化を見る (観光産業編)
アフターコロナを生き抜く！心理学から考える商品・サービス開発
注目を集める宇宙産業 人工衛星分野からみる技術開発動向とプレイヤー
ポストコロナの世界に新たに登場するロボット技術とグローバル主要プレイヤー

© 2020 VALUENEX Japan Inc.

2021年7月期連結業績予想

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、景気減速への懸念は深刻化しており、当社グループの業績に与える影響が不透明であることから、現時点で損益の合理的な予測が困難な状況となっております。以上の状況から、次期（2021年７月期）の連結業績予想につきましては未定とさせていただき、今後の業績への影響を慎重に見極め、開示可能となった時点で速やかに公表いたします。

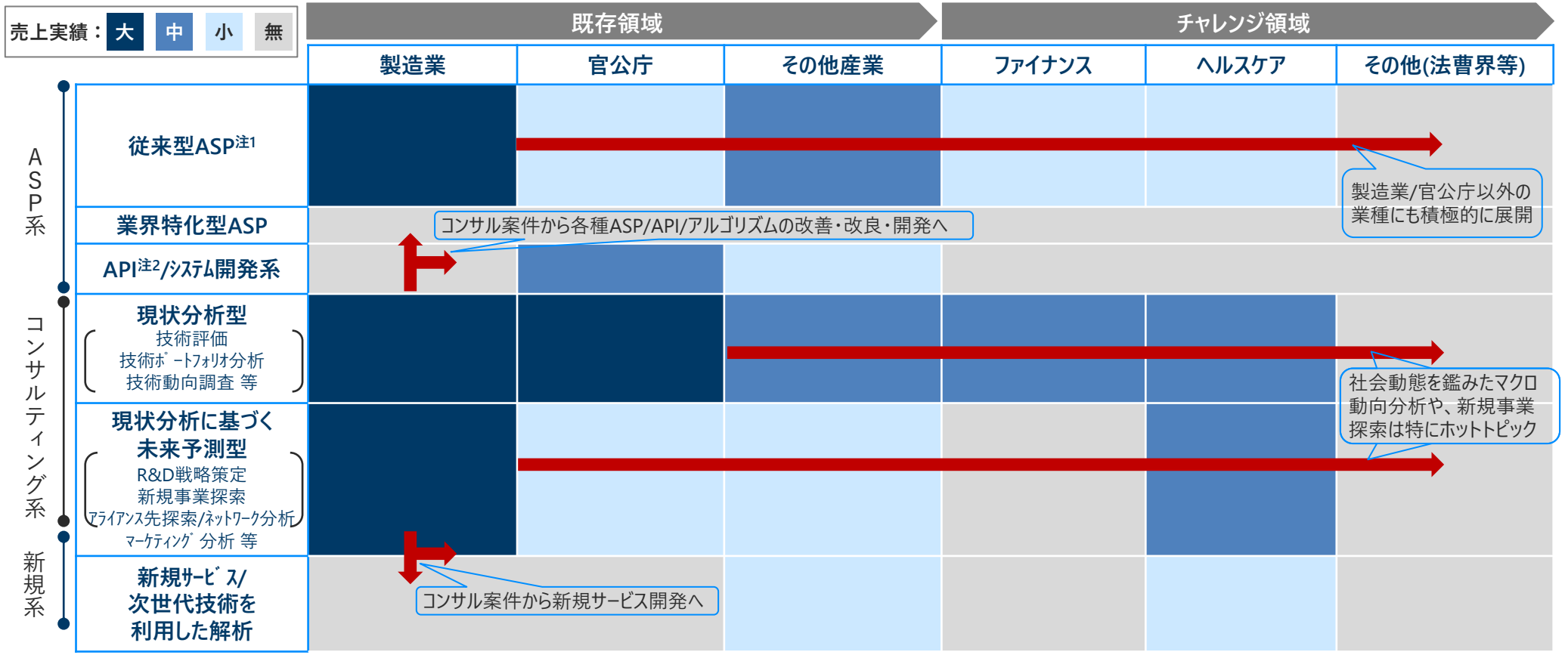
【今後の見通し】

- コロナの感染爆発によって、世界中で同時にデジタルトランスフォーメーション(DX)へのシフトが急速に進行しています。
- 当社のビッグデータ解析技術はデジタルトランスフォーメーション(DX) の進歩によって、これからまさに大きな需要が見込める分野です。
- パンデミックによって、不確実性が増大している社会では、これまでの常識や成功体験が通用しなくなっています。そこで今後の経営戦略や開発戦略を策定の際には、ビッグデータ解析により行くべき道を探索することが真価を発揮することになります。
- このような環境下で当社は需要拡大に対し、新たに研究開発人材、営業人材を世界最大のマーケットであるUSを中心に投資し成長していきます。

© 2020 VALUENEX Japan Inc.

中長期事業方針（1）

引き続き、ファイナンスやヘルスケア領域をチャレンジ領域としていく

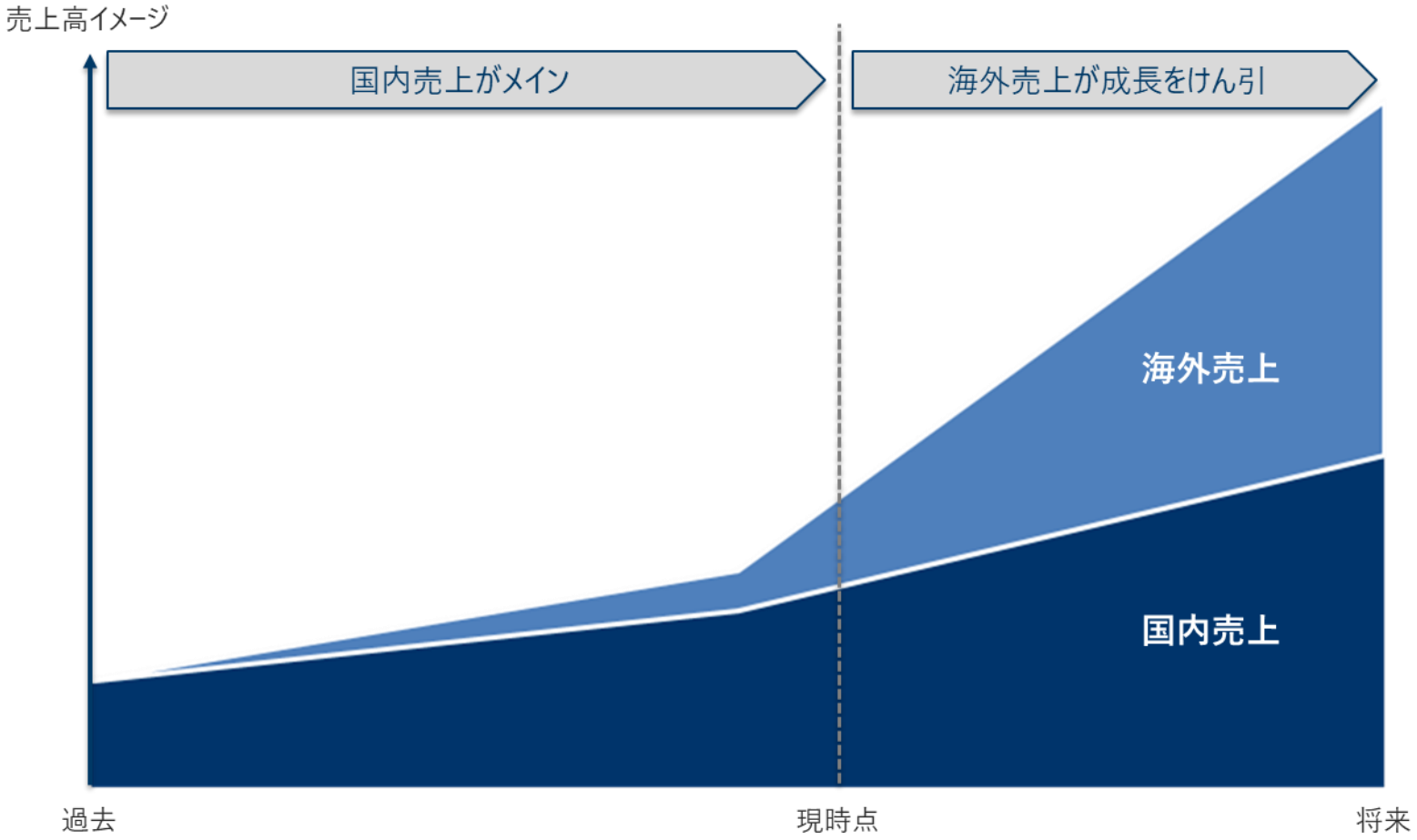


注1：ASP (Application Service Provider)とは、インターネット等のネットワークを通じて、アプリケーションソフトウェアを提供するサービスを指しています。
注2：API (Application Programming Interface)とは、OSやアプリケーションソフト等が自ら持つ機能の一部を、外部アプリケーションから利用できるようにするインターフェースを意味します。

© 2020 VALUENEX Japan Inc.

中長期事業方針（2）

中長期では、海外、特にUSでの売上がグループの成長をけん引するしていく



© 2020 VALUENEX Japan Inc.

項目

1 2020年7月期業績報告

2 2021年7月期連結業績予想・中長期事業方針

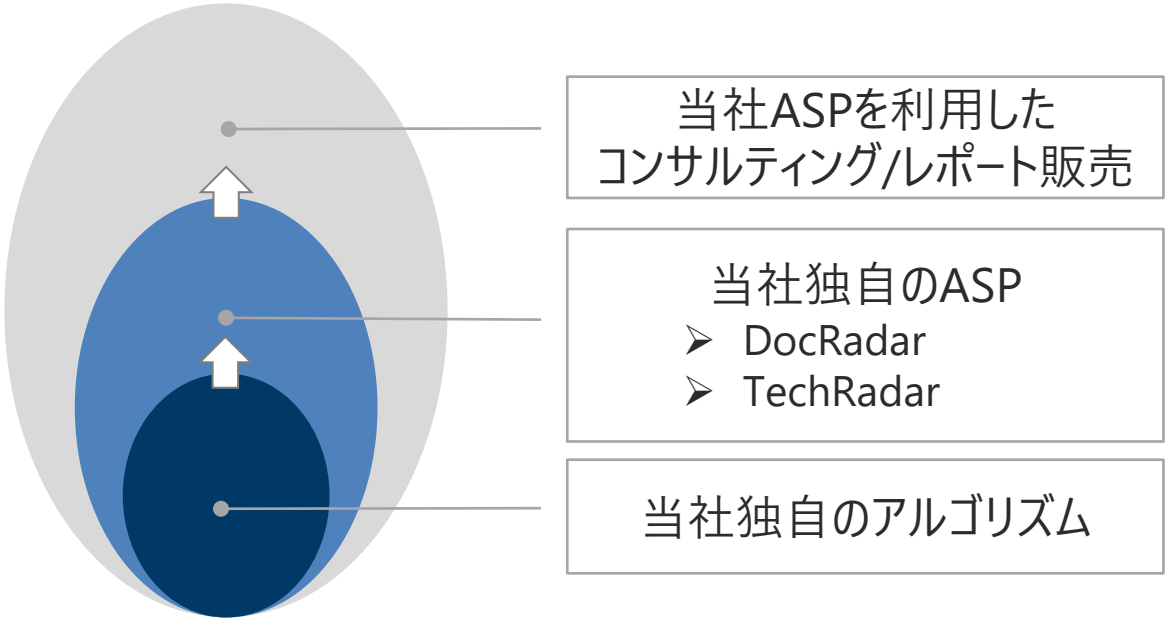
3 事業概要

© 2020 VALUENEX Japan Inc.

当社のアルゴリズム事業について

当社独自のアルゴリズム[注1]は大量の文書データ間の類似性を計算し、その関係を可視化するものであり、２つの販売形態を展開しております。

1) 当該アルゴリズムに基づく**ASP**[注2]
2) 本ASPを活用した**コンサルティング / レポート販売**



当社のアルゴリズム事業は、予測分析(プレディクティブ・アナリティクス）[注3]に応用可能なアルゴリズムであることを最大の特徴としております。

注1：アルゴリズムとは、問題解決のための具体的手順のことです。
注2：ASP（Application Service Provider）とは、インターネット等のネットワークを通じて、アプリケーションソフトウェアを提供するサービスを指しています。
注3：経験的証拠からの学習により、個人/企業/政府などの行動を予測し、より良い意思決定を導く技術を意味しています。

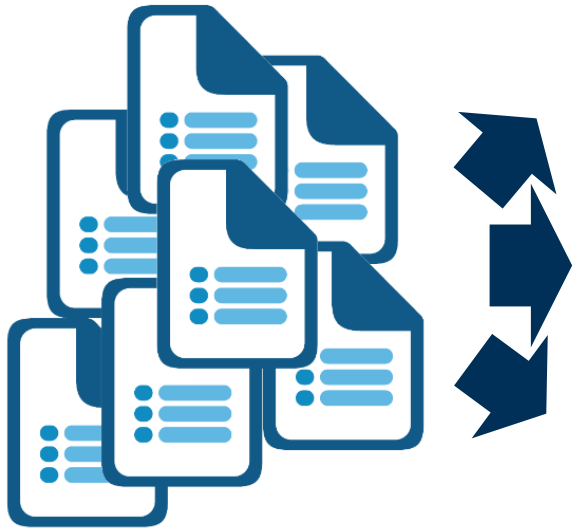
© 2020 VALUENEX Japan Inc.

サービスコンセプト：俯瞰解析

大量の文書データ間の関係性を独自のアルゴリズムにより計算・可視化し、意思決定・戦略構築のご支援をします。

BIG DATA → CLUSTERING → VISUALISATION → ANALYTICS

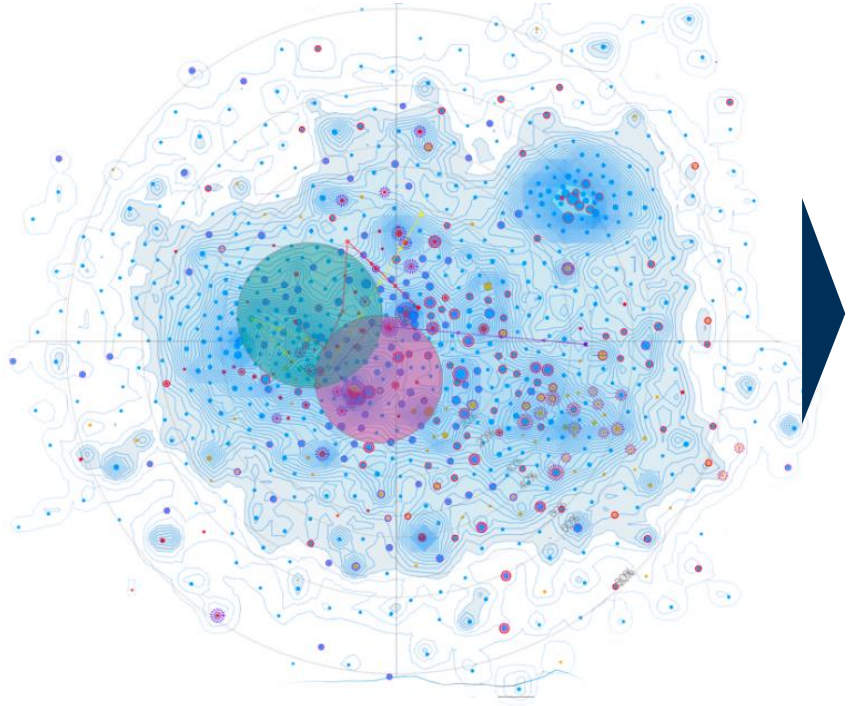
特許、論文、SNS、記事、アニュアルレポート　等



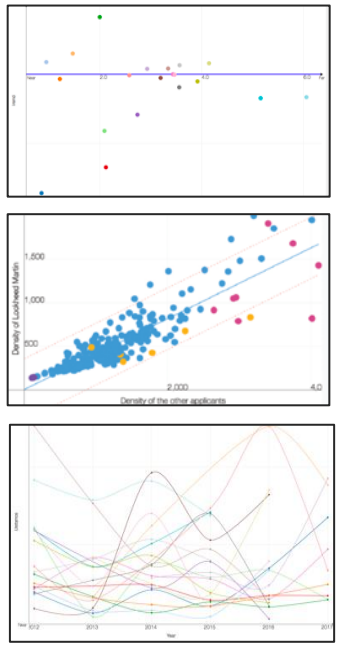
文書間の類似性に基づいたクラスタリング



クラスタ同士の類似性に基づいた可視化



様々な指標による定量的な解析



© 2020 VALUENEX Japan Inc.

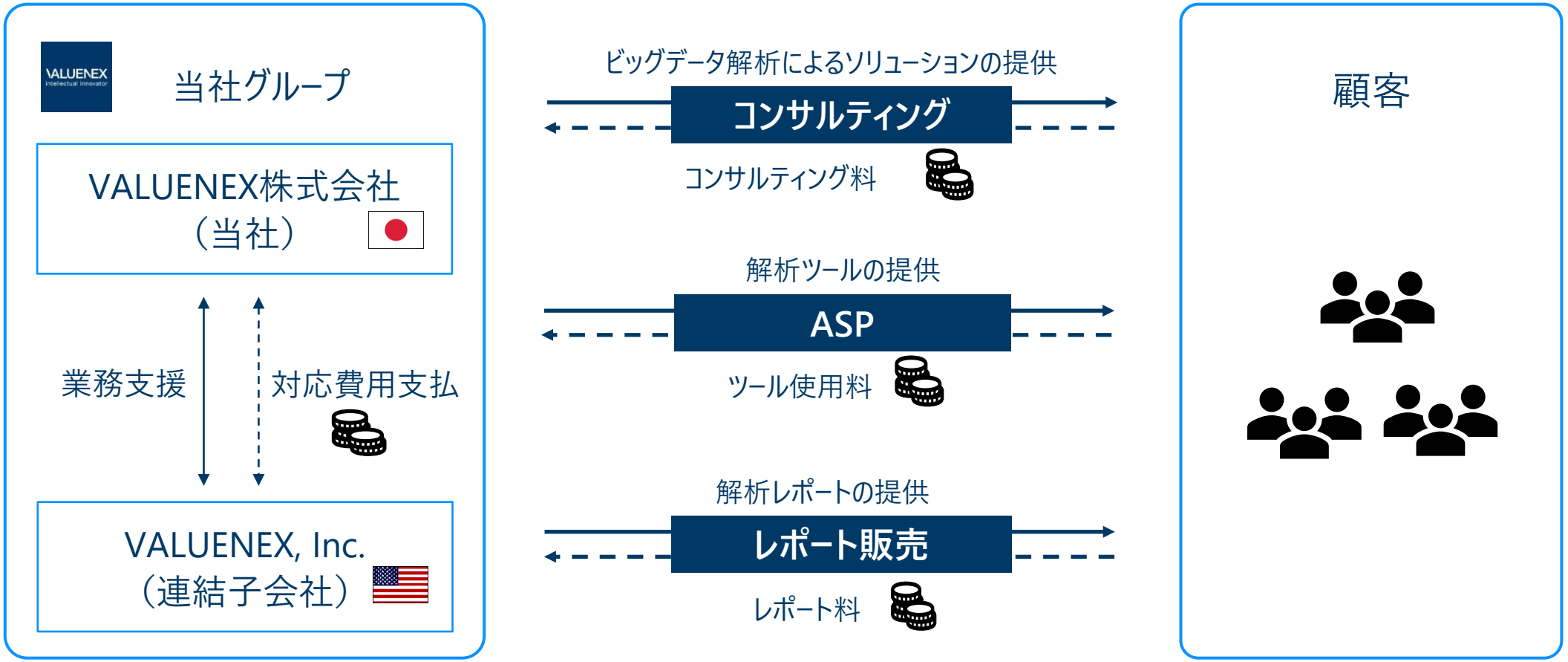
主要サービス概要

サービス分類			概要	主要対象顧客	対象文献	データベース
コンサルティング			顧客の課題に応じた調査・解析及びコンサルティングを当社が実施	調査/解析する時間・人材がいない、もしくは結果だけが欲しいといった方が対象	✓ 特許、論文 ✓ 新聞記事 ✓ SNS、アンケート、クチコミなど	付属せず
レポート販売			当社が独自に調査・解析を行い、簡易レポートを提供			
ASP	DocRadar		最大10万件までの様々な文書データを可視化・解析	特許以外にも、学術論文、クチコミ情報、アンケートデータ、商品紹介等の多様な文章データーを俯瞰解析したい方が対象		
	Tech Radar	Scope	最大1,000件まで特許を高速可視化	特定の特許や技術の類似特許を検索・可視化したい方が対象	特許	付属
		Vision	最大10万件までの特許を可視化・解析	業界・技術分野や企業の研究開発領域を俯瞰解析したい方が対象		

© 2020 VALUENEX Japan Inc.

事業モデル

当社独自の解析ツールの提供、俯瞰解析から予測分析・戦略活用までのコンサルティング／レポート販売しています。



注：図中の実線矢印はサービス提供を意味し、破線矢印はお金の流れを意味します。

© 2020 VALUENEX Japan Inc.

事例紹介

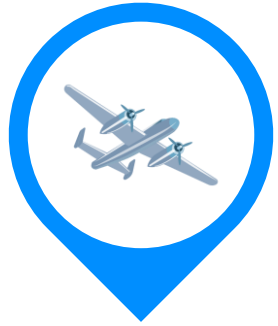
© 2020 VALUENEX Japan Inc.

Expected Healthcare Business in the Future

	1800	1900	2000	2020	2040?
TARGET					
	DEATH 死	**DISEASE** 病	**OLD-AGE** 老	**LIFE** 生	**BEAUTY** 美
NEEDS	Fighting Death	Overcoming Disease	Defying Age	Prolonging Life	Improving Wellbeing
METHODS	Improvement of Sanitary Conditions	Medical Breakthroughs	Generalization of Medical Knowledge	Preventive Medical Care	Stress-free Life?

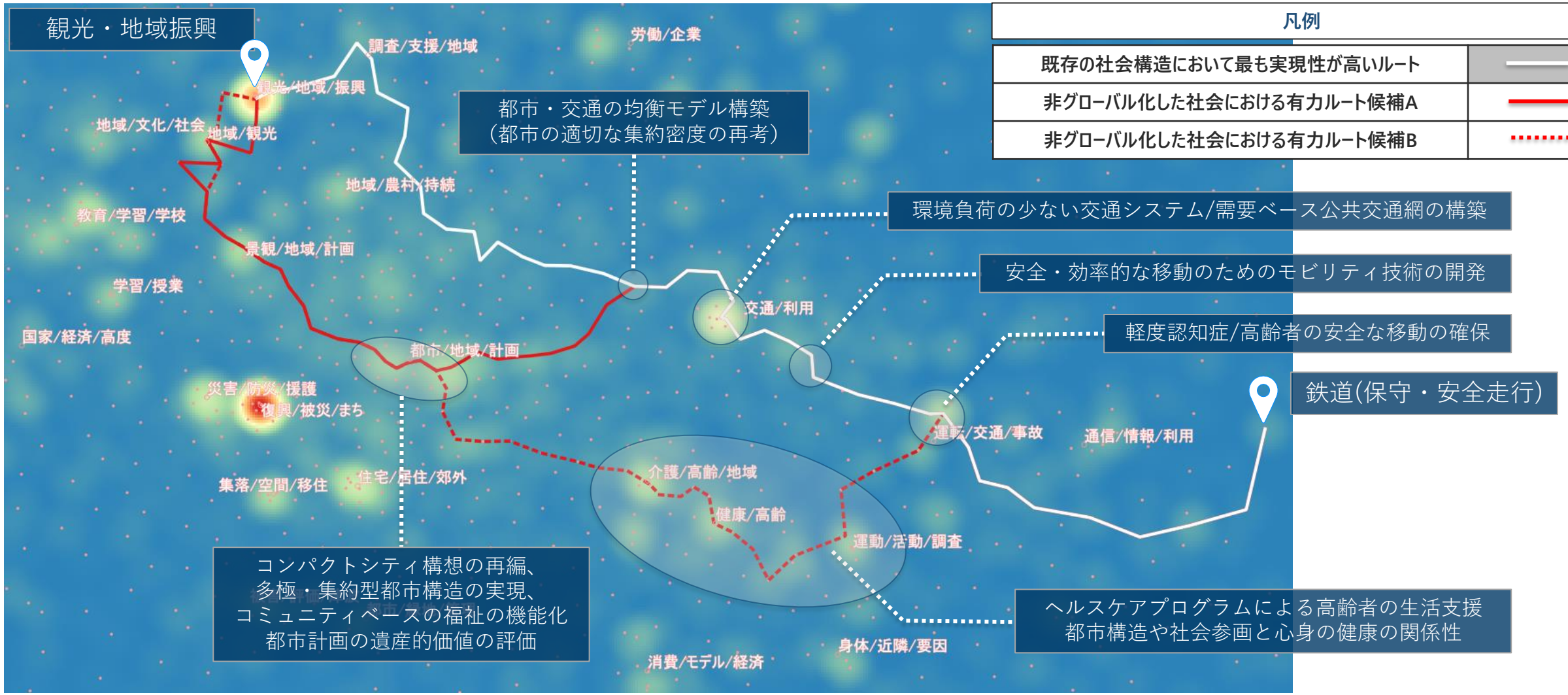
© 2020 VALUENEX Japan Inc.

Evolution of Travel

Linear	2D	3D	4D	5D
				
INDUSTRIAL REVOLUTION	**MASS PRODUCTION**	**INTERNATIONALIZATION**	**COLD WAR**	**ENVIRONMENTAL CHANGES**
1839	1908	1944	1957	2050~
STEAM ENGINES	**MECHANICAL ENGINEERING**	**AERONAUTICAL ENGINEERING**	**THEORY OF RELATIVITY**	**ELEMENTARY PARTICLE THEORY**
ECONOMIC IMPACT				
Extended movement of people and goods. Rise of urbanization.	Freedom of movement and increase in economic productivity. Birth of suburbia.	Rapid transport of global goods. Normalization of intercontinental connectivity.	New era of scientific discovery & technological developments.	?

© 2020 VALUENEX Japan Inc.

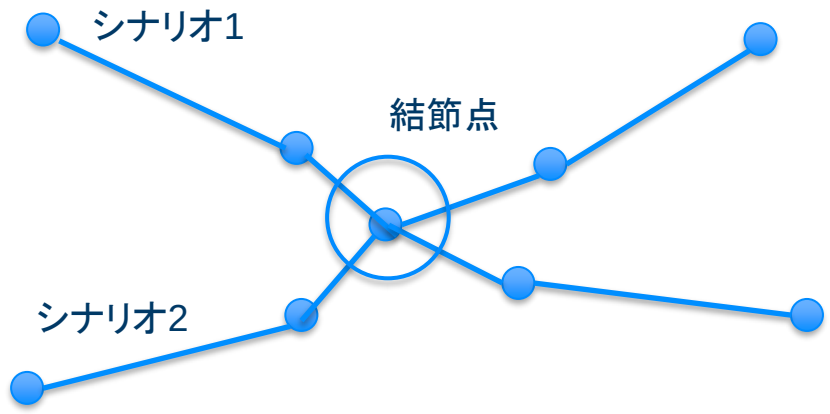
Case Study：「日本のまちづくりとモビリティ」をテーマとした分析の例



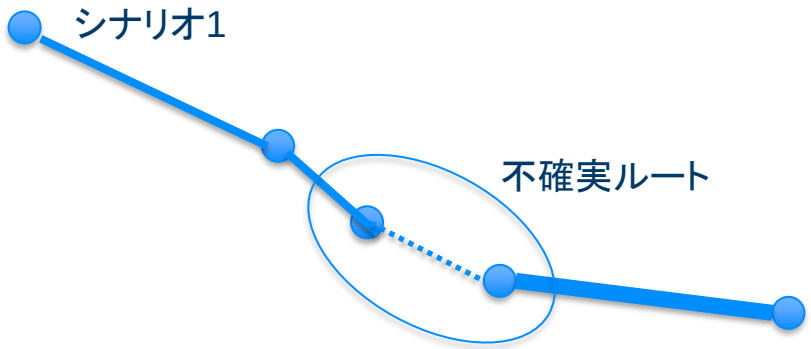
© 2020 VALUENEX Japan Inc.

シナリオ探索から結論導出

複数のシナリオの共通クラスターである結節点を抽出する
結節点への投資にて効率的に多くのシナリオへ波及



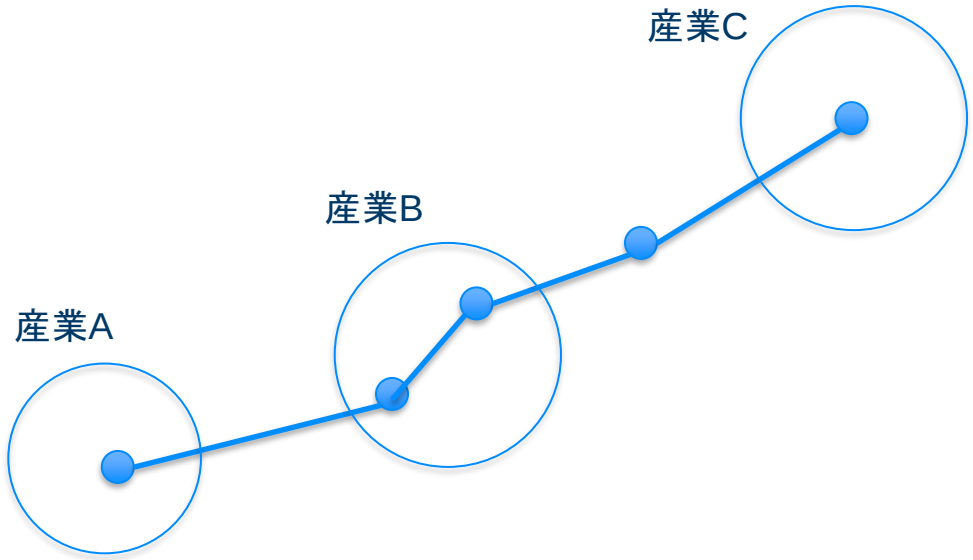
不確実なルートに補填しシナリオ全体の角度を高める



© 2020 VALUENEX Japan Inc.

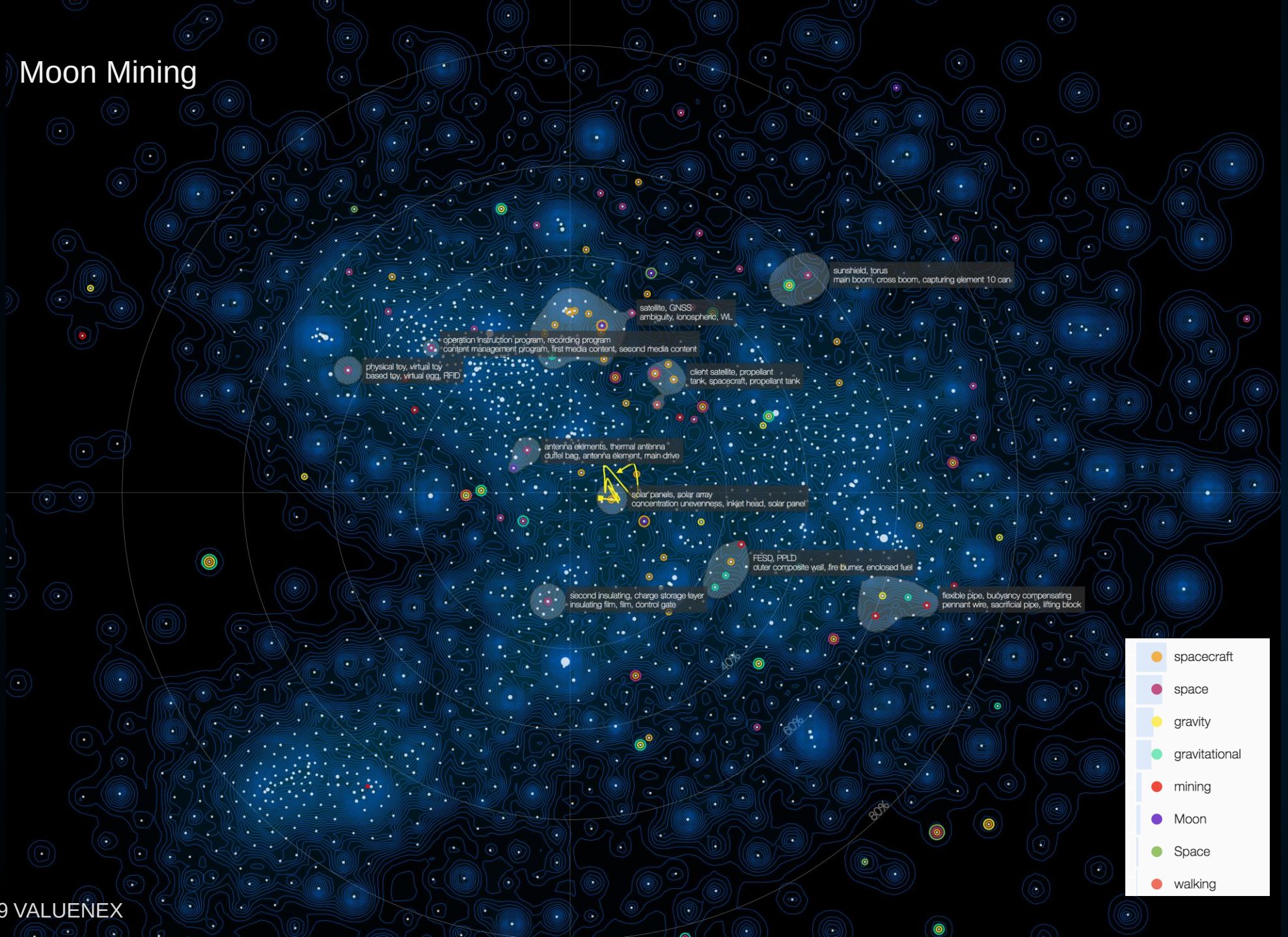
シナリオ探索から結論導出

一見すると無関係と考えられる産業や領域が、類似性、共起性等により繋げてゆくと、一つの連続した体系が見えてくる。



© 2020 VALUENEX Japan Inc.

Moon Mining



©2019 VALUENEX

Usual climate in Bay Area





©2019 VALUENEX

Usual evening scene in Bay Area



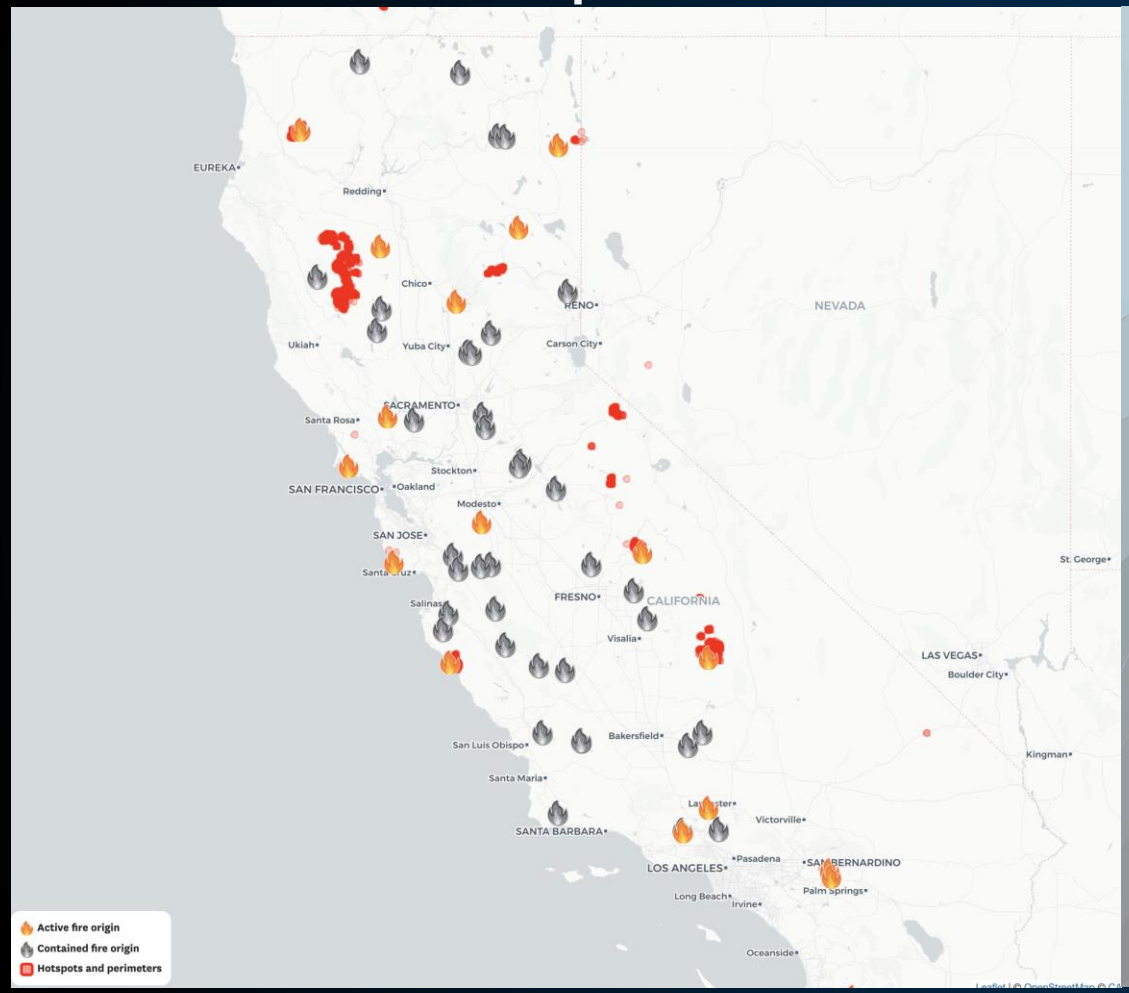


©2019 VALUENEX

Continuous Wildfire of California

Fire map

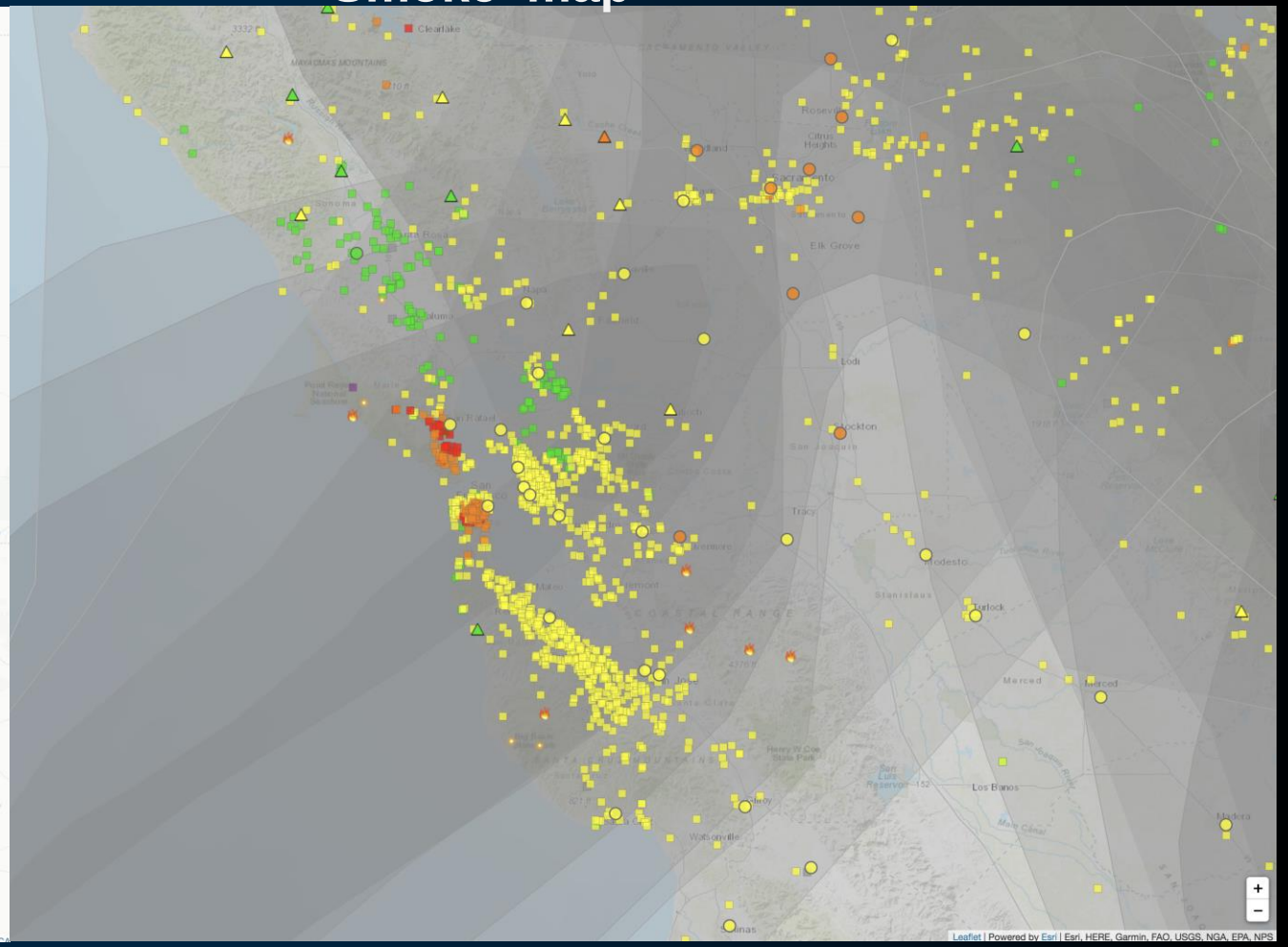
2020/09/05



https://www.sfchronicle.com/projects/california-fire-map/

Smoke map

2020/09/05



https://fire.airnow.gov/

©2019 VALUENEX

Wildfire changed entire landscape in Bay area



2020/07/24

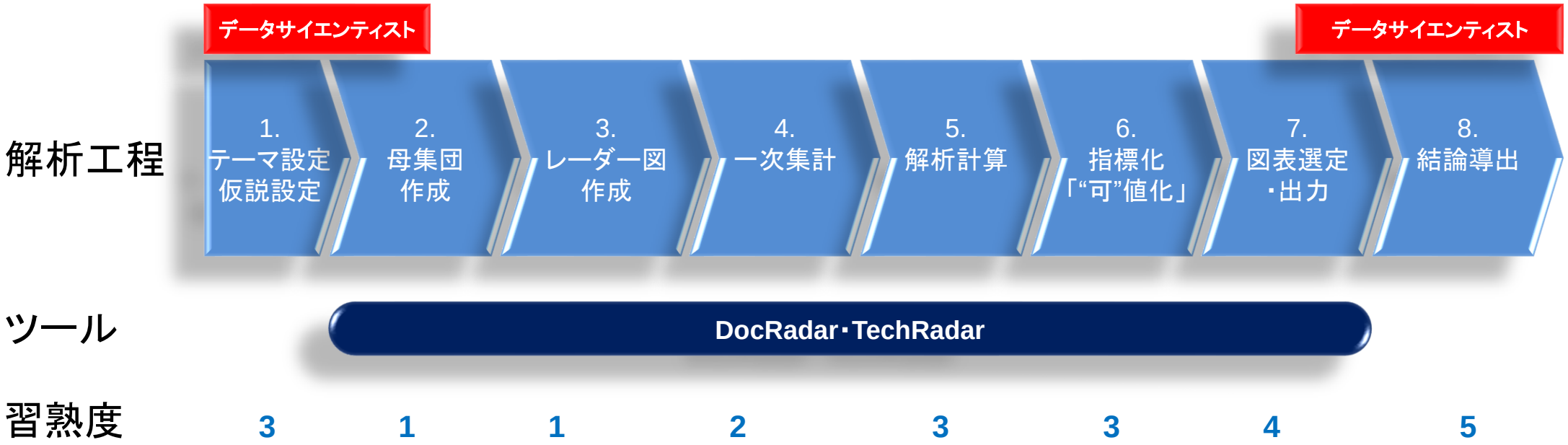


2020/08/19

©2019 VALUENEX

俯瞰解析は仮説と結論の対が必要

1. 解析ステップの把握
2. 習熟度にあわせたトレーニング



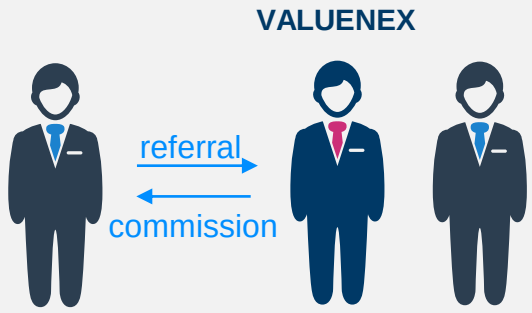
© 2020 VALUENEX Japan Inc.

Let’s collaborate

REFERRAL

Introduce VALUENEX consulting services or Radar

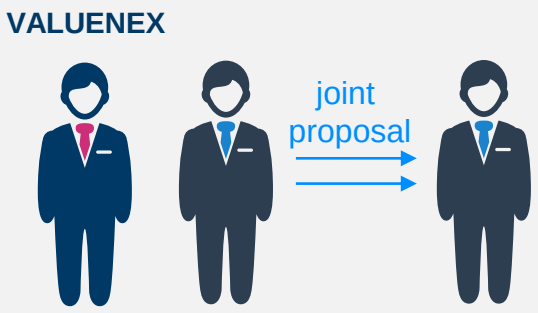
$ Commission on the final deal



JOINT OUTPUT

Your company’s consultation + incorporation of VALUENEX expertise and Radar output

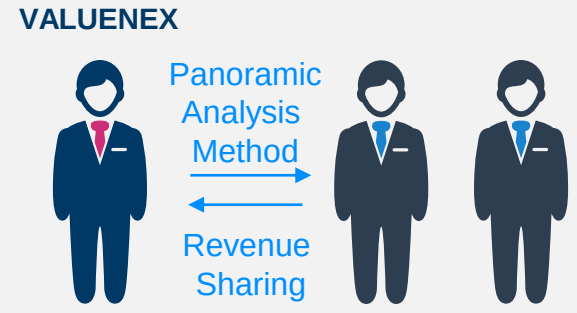
$ Revenue share



CONSULTING LICENCE

Utilize VALUENEXRadar for your consulting projects

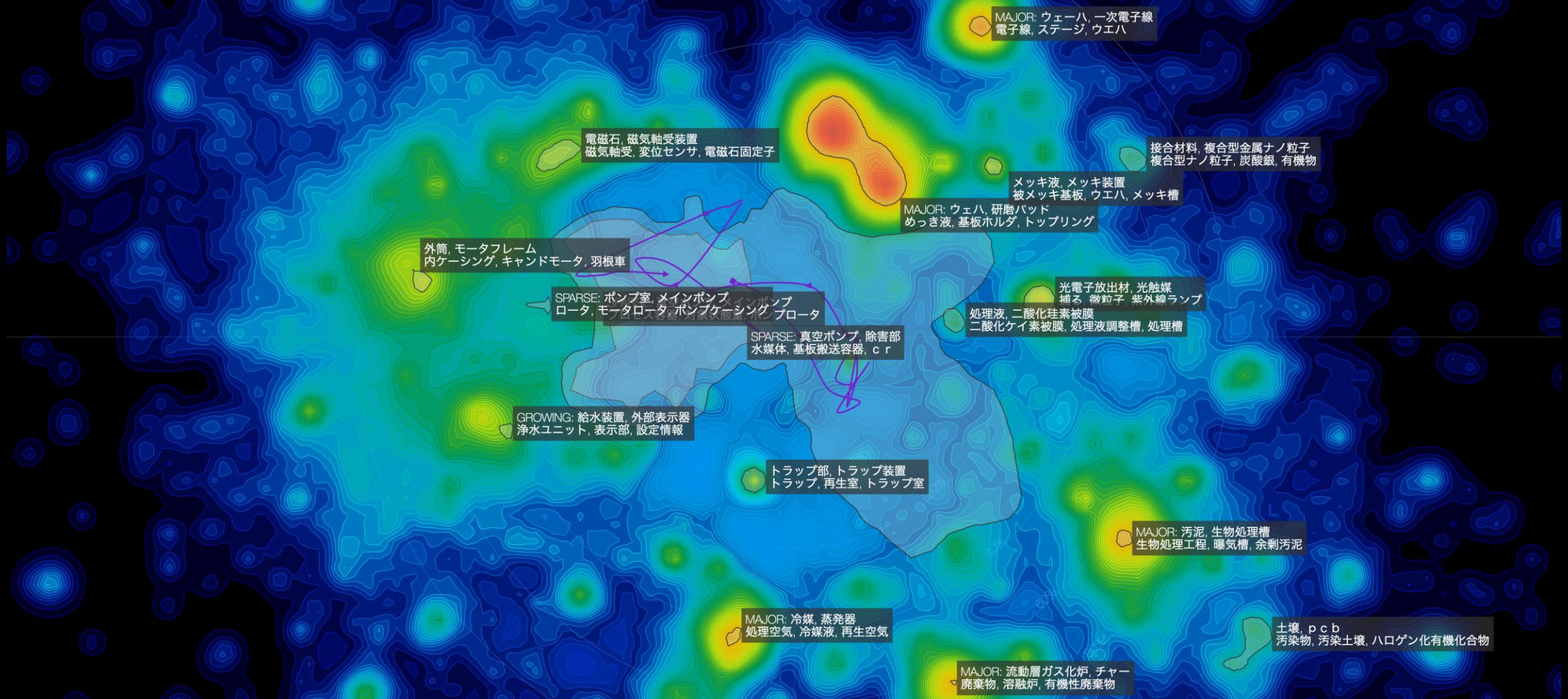
$ Revenue share
(+Radar basic usage fee)



© 2020 VALUENEX Japan Inc.


VALUENEX

荏原製作所　日本国公開公報 全期間1993-2020



©2020 VALUENEX



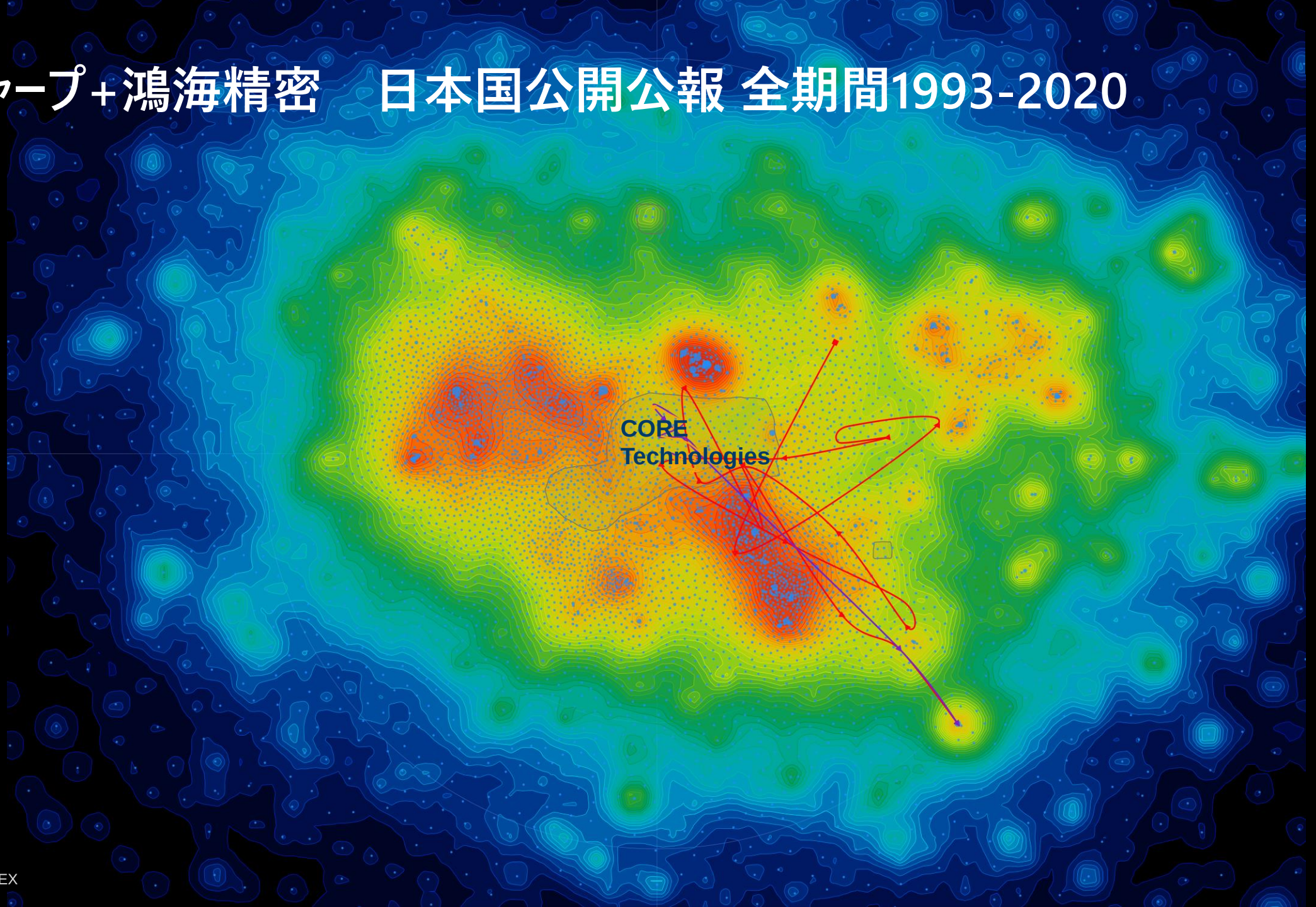
VALUENEX

BEAUTIFUL BALANCE

Case 1

©2020 VALUENEX

シャープ+鴻海精密　日本国公開公報 全期間1993-2020

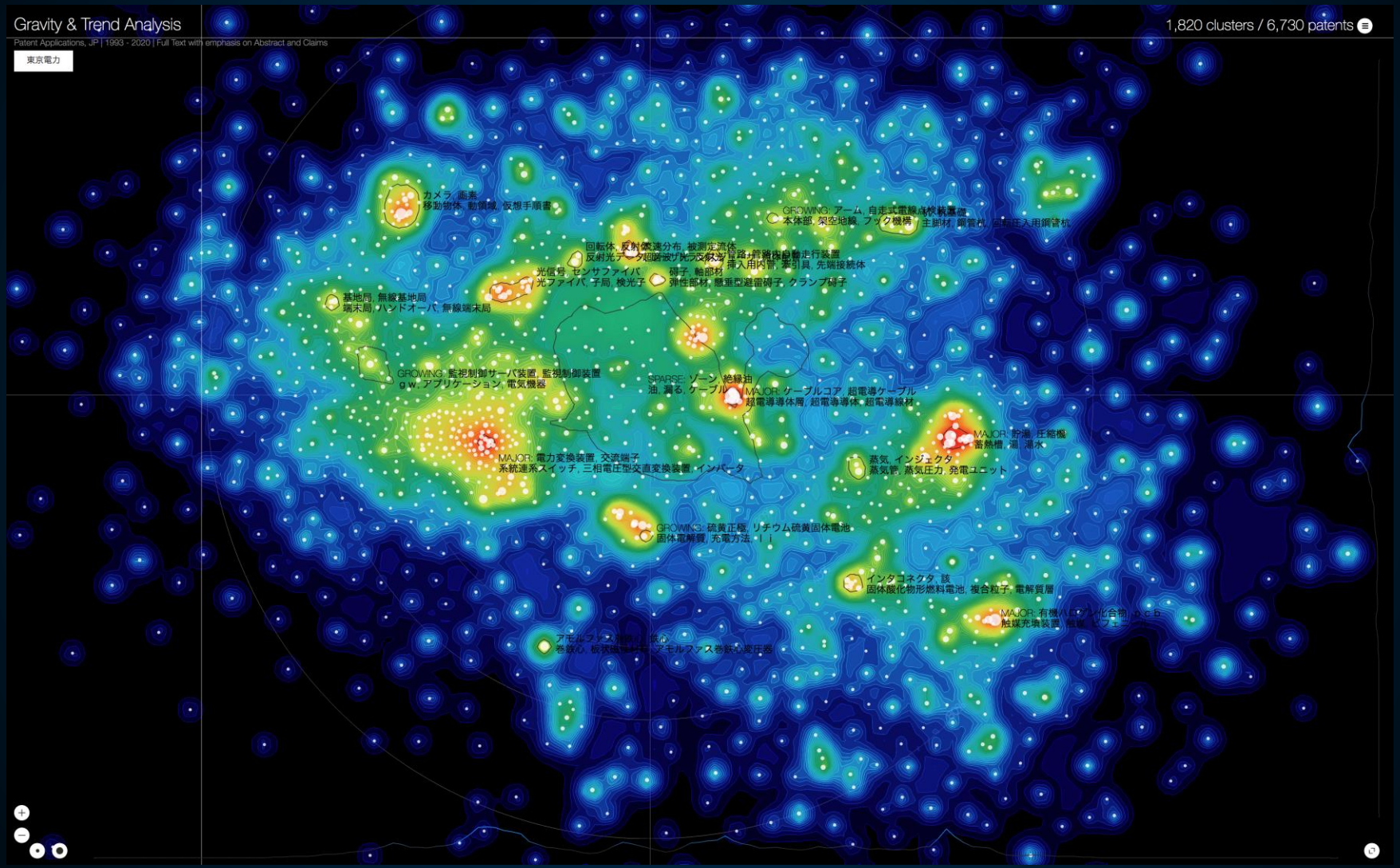


©2020 VALUENEX



©2020 VALUENEX

Various technologies are encompassed in one company



©2020 VALUENEX

Appendix

© 2020 VALUENEX Japan Inc.

会社概要

社名	VALUENEX株式会社
事業内容	アルゴリズム事業
設立	2006年 8 月 1 日
所在地	東京都文京区小日向 四丁目5番16号
資本金	529百万円（2020年7月31日現在）
連結子会社	VALUENEX, Inc.（100%子会社）　※在米国
従業員数	連結32名、単体28名（2020年7月31日時点）　※役員除く
役員	中村 達生　：代表取締役社長 CEO /博士（工学） 鮫島 正明　：取締役 CFO コーポレート本部長 /MBA 本多 克也　：取締役 研究開発本部長/博士（工学） 片桐 広貴　：取締役 ソリューション事業推進本部長/工学修士 Sam KOVACH　：取締役 CINO 海外事業推進室長 鈴木 理晶　：社外取締役/弁護士 松田 均　：社外常勤監査役/公認内部監査人 花堂 靖仁　：社外監査役/ 大学名誉教授 宮内 宏　：社外監査役/弁護士

© 2020 VALUENEX Japan Inc.

ミッション及びビジョン

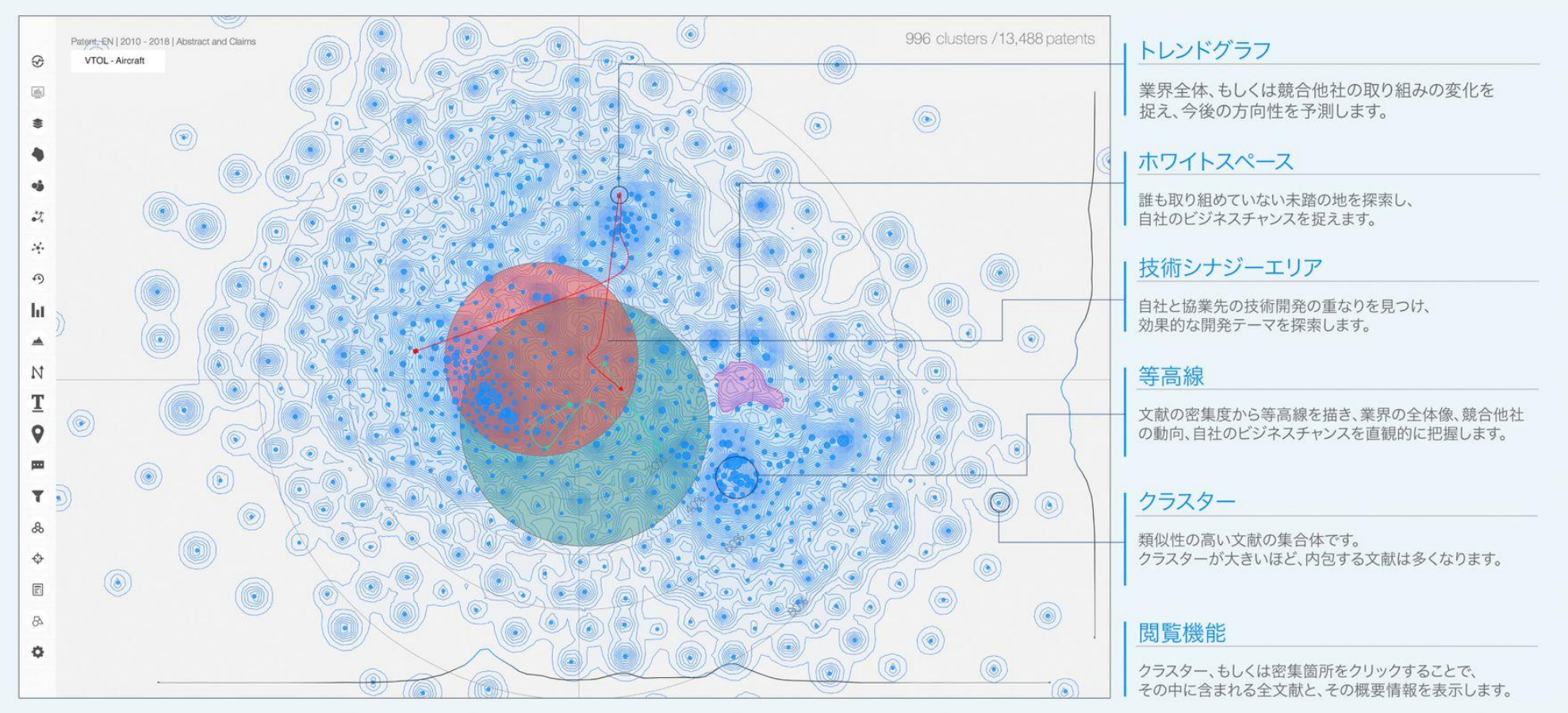
Mission	VALUENEXは、世界に氾濫する情報から「知」を創造していく企業です
Vision	• 我々は、世界に氾濫する大量の情報を「信頼性」、「俯瞰性」、「客観性」、「正確性」、「最適性」の5つの独自の視点で融合し、価値を創造する企業です • 我々は、世界に認知される企業を目指します • 我々は、自ら考え、自ら行動する企業を目指します • 我々は、「知」を求める全ての人に価値を提供します

© 2020 VALUENEX Japan Inc.

当社ASPの検索・可視化イメージ

検索された文章に近い情報を短時間で収集・可視化し、欲しい情報と周辺情報が把握できます。

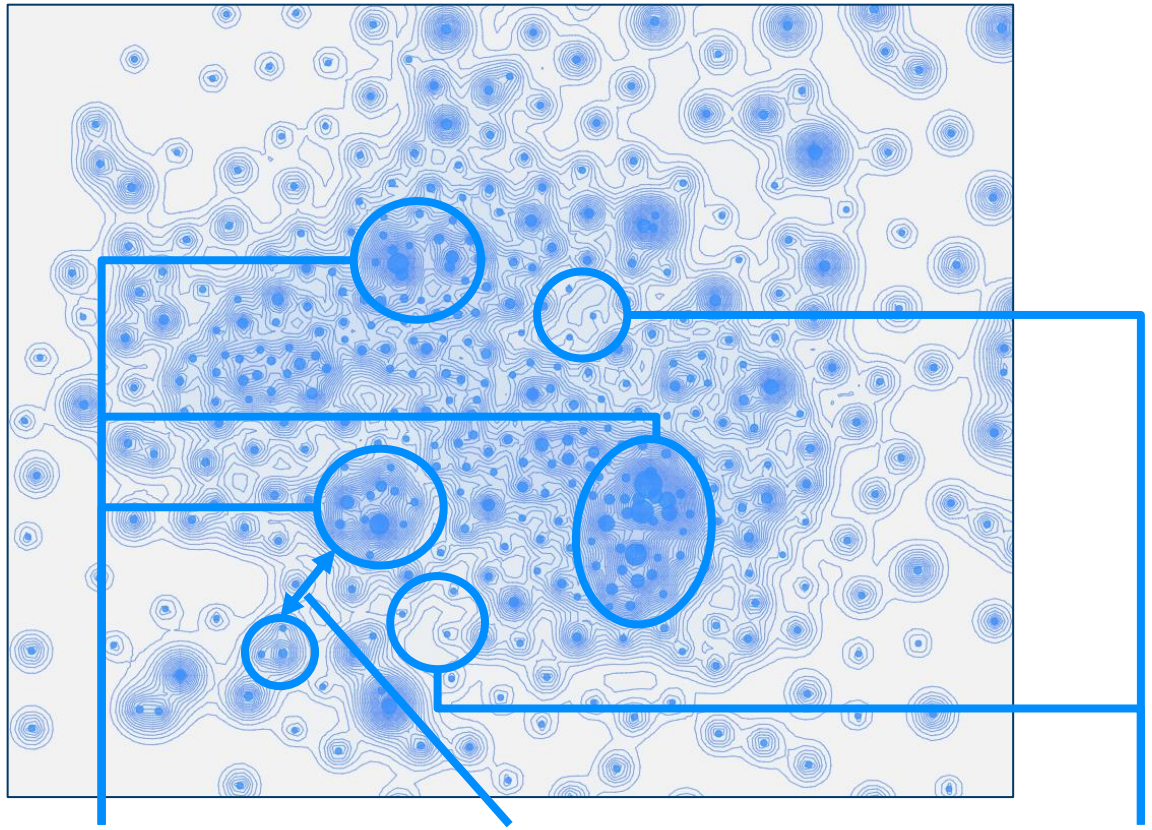
当社ASPのイメージ図（俯瞰図）



© 2020 VALUENEX Japan Inc.

俯瞰図の基本的な見方

テキストデータ同士の内容の関連性に基づく配置により、大量のテキストデータの全体像を把握しやすくします。



各プロットは似ている文書をひとまとめにしたクラスタ

クラスタの大きさは、その中に含まれる文書の数に比例

クラスタ間の距離はクラスタ間の類似度を表現（似ているほど近い）

XY軸は予め定義されていない。
クラスタ同士の類似性を最適に表現できるように配置を決定

クラスタが密集
＝データセット中に多く含まれている技術や市場ニーズなどの情報

クラスタ間の距離が近い
＝内容の関連性が高い

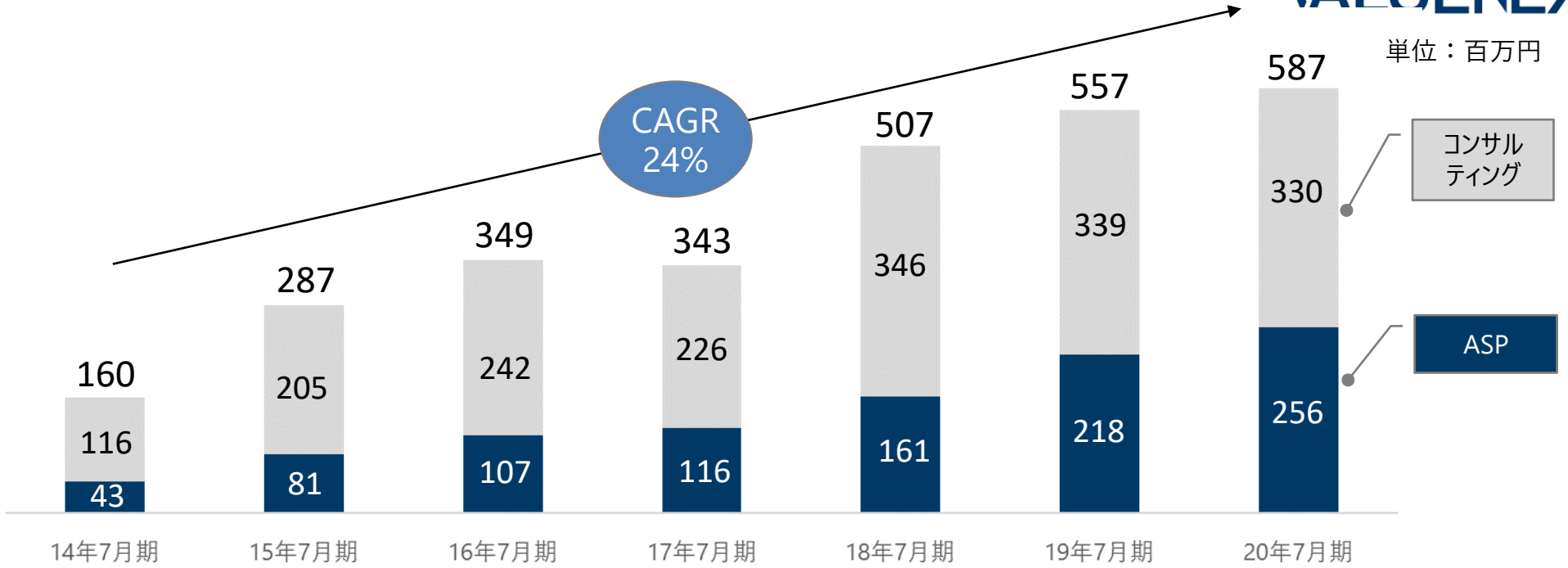
ホワイトスペース

© 2020 VALUENEX Japan Inc.

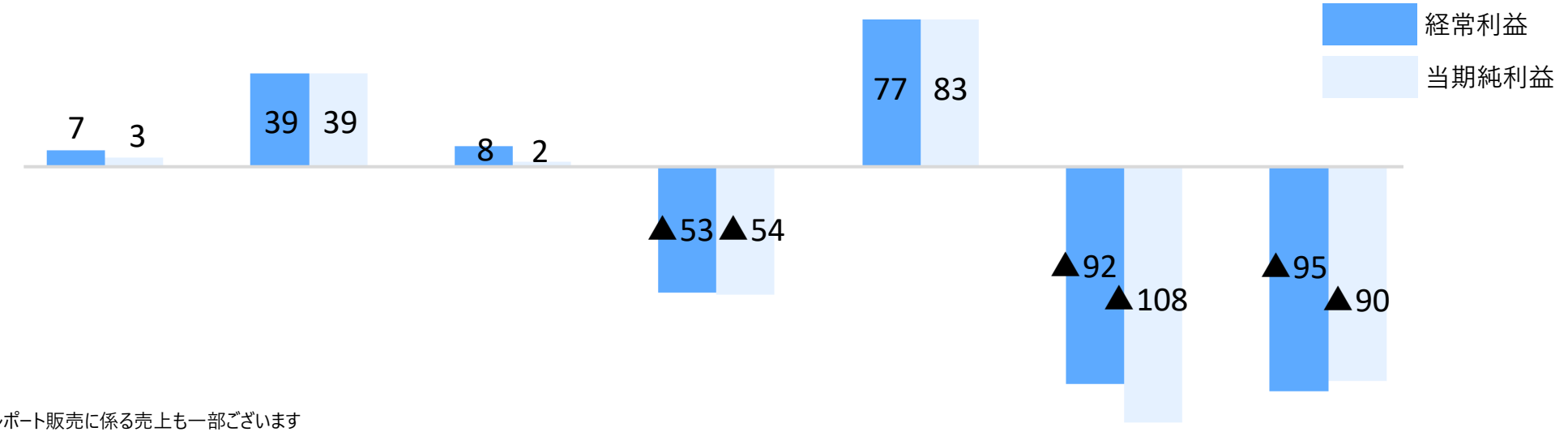
業績推移

単位：百万円

売上高注



経常利益
当期純利益



注：ASPとコンサルティング以外に、レポート販売に係る売上も一部ございます
2014年7月期、2015年7月期は単体決算、2016年7月期以降は連結決算の数値となっております。

© 2020 VALUENEX Japan Inc.

将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

© 2020 VALUENEX Japan Inc.

VALUENEX

FOR MORE INFORMATION:

www.valuenex.com
customer@valuenex.com